

一雪の無い富士山 甲武信ヶ岳

標高 2,475m

山行実施日

2016年1月9

日~11日

メンバー

K坂(L)、H

竜



山頂にて

北本駅西口に1月9日18時集合し、国道17号・140号を經由して前泊地「道の駅みとみ」に向かう。到着後、いつものように多少の寝酒を飲み、明日のコース（往路は近丸新道、復路は徳ちゃん新道）を確認して仮眠をとる。起床後、朝食を取りながらテントを撤収し登山口の駐車場に向かう。

駐車場からは近丸新道まではしばらく林道を歩く。林道には雪が無いが時々見える沢筋には水がうっすら

と張っている。近丸新道を登って行くくと渡渉箇所が出て来た。岩に氷のコーティングが張っていて滑る滑る。H竜さんストックを使ってひよひひよいと渡って行く。私は滑って渡れない。やっと渡れそうな場所を見つけて渡る。近丸新道は、がれ場の連続で慎重に進む。もう一か所の渡渉が有ったがこちらは暖冬の影響でそんなに氷がなく、問題無く渡れた。寒い時はここでアイゼンを付けて渡る必要があるかもしれない。2000mを越えてから雪がちらほらと登山道に出て来たが水が作れる程ではない。今夜の水が心配になってきたので下山して来た人に確認する。一人目、無理かも。2人目、全然、大丈夫よ（陽気な外人?）。3人目、我々は水を担いで登りました。でも、水が作れるか分からないが雪は多少有りますよ。三者三様の答えでうれしい。2200m超えて登山道に氷が増えて滑り出したのでアイゼンをつ

ける。

木賊山についても雪が少なく山頂の標識が見えている。例年は埋まって見えないはず。木賊山の下りでやっと水作りの良い雪が吹き溜まりで溜まっていた。下って行くともた雪がない。今宵は最悪さっきの場所まで戻る必要があると話ながら進む。更に進むと甲武信小屋の手前にもきれいな雪があった。小屋のベンチにザックをデポして甲武信ヶ岳山頂を目指す。結局、雪がなく途中でアイゼンを外して、雪の無い雪山の山頂を踏み、担ぎ上げたビールで乾杯する。快晴で遠くまで見えたが周りにも雪がない。小屋に戻ると冬期小屋として使えるようである。まずは小屋の周りできれいな雪を探すがやはり無い。結局は途中まで戻り雪を確保する。だれも小屋にいないので小屋にテントを張り今宵の宿とする。雪がなくてもやはり冬山、小屋の中でマイナス10度まで下がっていた。翌日は小屋の掃除をしてアイゼンを付けて下山開始するが途中でアイゼンを外して徳ちゃん新道を下る。特に危険箇所は無し。夏山、甲武信ヶ岳を無事、下山する。

コースタイム

2016/01/10

登山口駐車場 6:41 近丸新道口

7:31 徳ちゃん新道合流点 10:11

破風山分岐 12:27 木賊山 12:56 甲

武信ヶ岳 13:44

2016/01/11

甲武信小屋 7:34 近丸新道分岐

9:36 徳ちゃん新道口 10:54 駐車

場 11:30

周りも雪無し。富士山も雪少し。

